

(様式第 6 号) (第 53 条関係)

施工状況等報告書

28 上伊広連ご第 50 号

平成 28 年 10 月 11 日

長野県知事 阿部 守一 様

住 所 長野県伊那市荒井 3500 番地 1

氏 名 上伊那広域連合

広域連合長 白鳥 孝

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します。

記

対 象 事 業 の 名 称	上伊那広域連合新ごみ中間処理施設整備事業
報 告 対 象 期 間	平成 28 年 7 月 1 日から 平成 28 年 9 月 30 日まで
環境の保全のための措置の状況	詳細は別紙添付資料のとおり
対 象 事 業 の 実 施 状 況	計画準備段階 (現在、設計及び計画の準備を実施している。)

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

追加[平成 11 年規則第 41 号]

(添付資料)

環境保全措置実施状況

期間：平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日

環境影響評価項目	保全対象	環境保全措置	環境保全措置の実施状況	添付書類
動物	種の保存法に指定されている猛禽類	生息状況のモニタリング	7月7日、8日に対象事業実施区域周辺1kmの範囲を対象に、定点観察と林内踏査を行った。 調査の結果、6月に巣上で確認されたオオタカ雛3個体のうち、2個体の巣立ちが確認された。	—
	注目すべき種（ベニモンマダラ）	移植後のモニタリング	7月7日、8日に平成27年移植地及び周辺を対象に、ベニモンマダラの生息状況のモニタリングを行った。 調査の結果、平成27年移植地付近でベニモンマダラの成虫1個体が確認された。また周辺ではクサフジの生育する三峰川堤外地の草地で成虫5個体が確認された。	写真-1 写真-2

注 1：種の保存法に指定されている猛禽類のモニタリングは、「新ごみ中間処理施設建設に係る環境影響評価書」（平成 25 年 4 月、上伊那広域連合）の環境保全措置に該当しないが、環境影響評価後の生息状況の変化を踏まえて追加実施したものである。

注 2：注目すべき動物種（ベニモンマダラ）のモニタリングは、「新ごみ中間処理施設建設に係る環境影響評価書」（平成 25 年 4 月、上伊那広域連合）に基づく事後調査である。



番号
1
撮影日
平成28年7月7日
環境保全措置
注目すべき種(ベニモンマダラ) 移植後のモニタリング
内容
確認されたベニモンマダラ (平成27年移植地付近)



番号
2
撮影日
平成28年7月7日
環境保全措置
注目すべき種(ベニモンマダラ) 移植後のモニタリング
内容
確認されたベニモンマダラ (三峰川堤外地)

対象事業実施期間

事業の実施状況は、平成 28 年 3 月よりの設計段階の準備期間中である。
 平成 28 年 10 月の造成工事より建設に着手し、平成 31 年 3 月に稼働する予定である。

表 対象事業実施期間

年 度 項 目	H27			H28												H29												H30																					
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
実施設計				実施設計等																																													
土木建築工事																																																	
造成工事								準備工・造成工																																									
本体工事														掘削・躯体・鉄骨工事																		外装・内装・仕上げ・外構																	
プラント工事																													機器据付・耐火物・配管・電気工事														無負荷・負荷試験等						